



盛りつけの様子

身近なところでもいいことたくさん 校区社会福祉協議会の福祉活動 —ふれあい・いきいきサロン—

ふれあい・いきいきサロン活動とは、身近な地域(小地域)を単位として、高齢者や障害者、児童など地域住民とボランティアが一緒に企画し、運営する「仲間づくり」「健康の維持・増進」「生きがいづくり」を進めるための活動です。

京町校区社会福祉協議会(松尾紀子会長)は、より身近なふれあい・いきいきサロンで会食を開こうと、食事サーブに熱心に取り組まれている上津校区社会福祉協議会(馬場弘喜会長)を訪ねました。

京町校区社協・ 上津校区社協へ交流学習

5月11日(水)、京町校区社会福祉協議会が上津公民館分館で開かれたふれあい食事会(上津校区社会福祉協議会主催)に参加

し、交流学習されました。きっかけは、京町校区社会福祉協議会の給食部が「食事サーブについて学びたい」という思いからでした。そこで、永年校区内でふれあい食事サーブに熱心に取り組まれている上津校区社会福祉協議会の樋口欽一前会長がその思いに応え、打ち合わせを重ね、当日の交流学習会になりました。

上津校区では、8地区において75歳以上の一人暮らし高齢者及び夫婦二人の世帯を対象としたふれあい食事会を毎月行っています。また、ふれあい食事会で作られた料理や献立表を今後の活動に活かすため、記録に残しています。

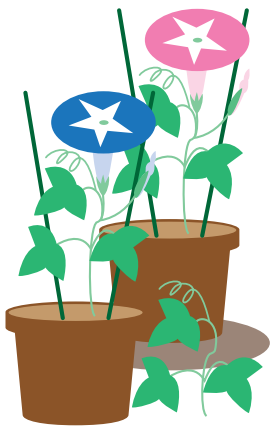
交流学習会では、食事を作る様



食事ができるまで脳トレをしました

子を見学。その後、食事ができるまでの間、参加者と一緒にレクリエーションや脳トレ運動などを行いました。

その後、上津校区の皆さんと京町校区の皆さんと一緒に食事をいただきながら、ふれあい食事サーブを実施する上で気をつけていることや、日頃の校区の福祉活動の取り組みについて意見交換を行い充実した交流学習となりました。



西日本鉄道(株)新入社員が体験 ～お客さまの安心のために～

5月23日(月)、西日本鉄道(株)の新入社員向けに「障害者・高齢者疑似体験」を行いました。この日は、車イスの介助や高齢者疑似体験セットを装着しての移動など、実際に電車に乗り、自分自身で体験をされました。参加者から「普段気にすることのなかった段差に気づいた」「視界を遮られることに不安を感じた」などの感想が聞かれました。

市社会福祉協議会では、企業や団体の福祉体験学習の支援として、車イス等研修機材の貸し出しや、職員の派遣を行っています。

【問い合わせ】市社会福祉協議会 TEL 0942・34・3035 FAX 0942・34・3090



実際に電車に乗りました